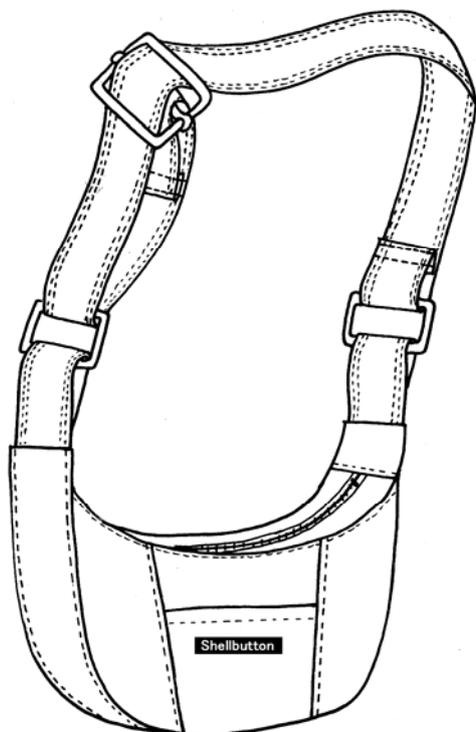
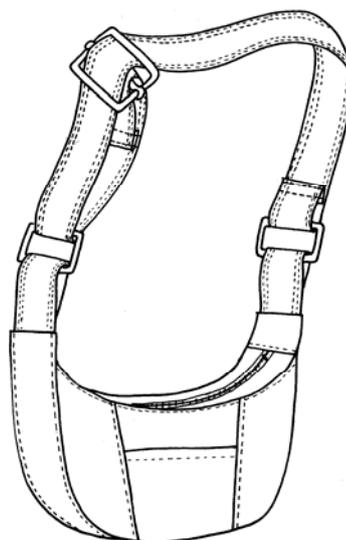




SB-17A斜め掛けバッグ



大人用サイズ



子供用サイズ

個人利用目的以外での複写や、転売等をご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

パターンショップ Shell button

<http://www.shellbutton.net/>

info@shellbutton.net

出来上がりサイズ・必要用尺

【単位:cm】

	縦	横	マチ幅	持ち手の長さ
大人用	22	35	12	100
子供用	14	25	8	75

※1.マチは最も広い所(バッグ中心の底)を測定しています。肩紐に近くなるにつれて、少し細くなっています。

※2.持ち手の長さは、最も長くした時の長さです。

	用尺(表地)	用尺(裏地)	ファスナー	角カン(2個)	移動カン(1個)
大人用	1.2m	1.0m	37cm	50mm幅	50mm幅
子供用	1.0m	0.7m	26cm	30mm幅	30mm幅

※1. ■表地用尺は、肩紐を長くする場合は、その分だけ足してください。

■肩紐を、市販のテープなどを利用し、共布で作られない場合は、裏地と同じ用尺で作れます。

■生地幅が広くなっても、表地用尺に変わりはありません。

※2.ファスナーは 5 コイルぐらいが適しています。お店で指定の長さに詰めてもらって下さい。

【肩紐を市販のテープなどで作る場合】

	テープの幅	テープの長さ
大人用	5cm	140cm
子供用	3cm	110cm

※ 1.肩紐の幅は、狭く出来ます。テキスト最終ページに説明がありますので、裁断前にご確認下さい。

※ 2.肩紐の長さを変えられる場合は、その分だけ差し引きして下さい。

縫い代について

パターンは全て 縫い代込み になっています。

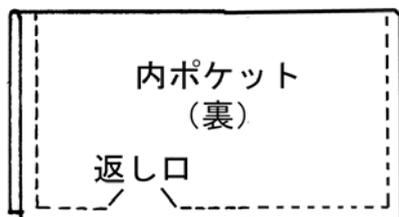
縫い方手順

※ 端処理は、縫い代をロックミシン及びジグザグミシンで処理することを表します。

コバステッチとは、表側へ、縫い合わせ端から 3mm ぐらいまでのところにかける、ステッチのことです。

1. 内ポケットを作り、裏地に縫い付けます。

①内ポケットを中表にして二つ折りにし、返し口を残して周囲を縫います。

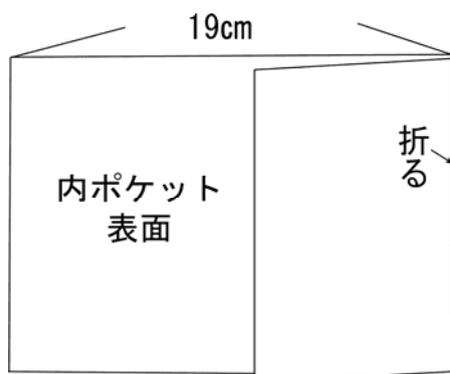


②表に返して、返し口の縫い代も折り込み、アイロンで形を整えます。

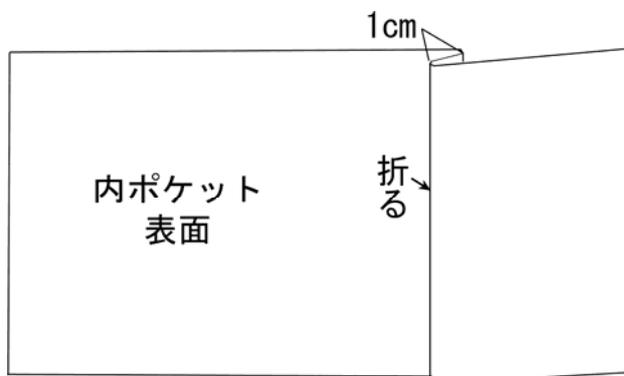
★縫い代を、爪等で割ってから裏返すと、綺麗に仕上がります。

③タック部分をアイロンで折ります。(大人用のみ)

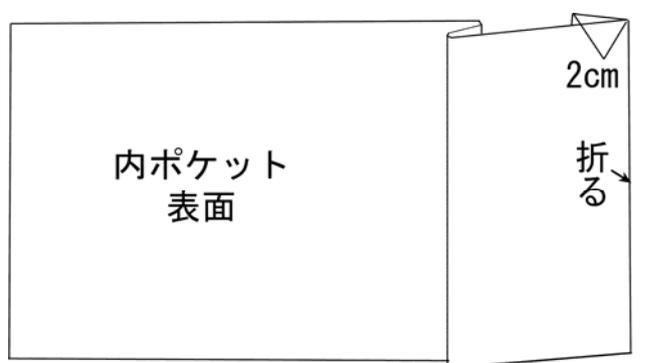
1. 表面になる方を上にして、向かって左端から 19 cm の所で一度折ります。

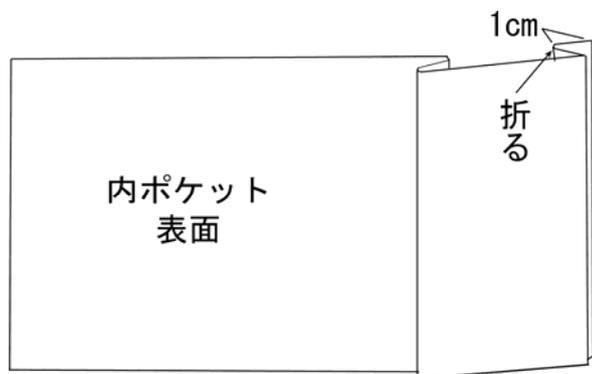


2. さらに 1cm 幅で折り返します。



3. 右端を 2cm 幅で折って、それを 1cm 幅で折り返します。





④「わ」になっている方が上に来るようにして、裏地のバッグ背面の内ポケット付け位置に、ポケットを待ち針で止めます。

<子供用>

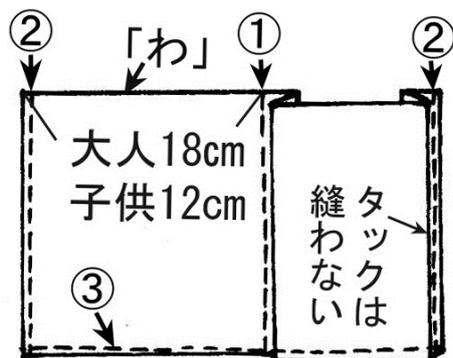
普通に周囲を縫いとめます。

<大人用>

ポケットの仕切り位置を最初に縫います。(①)

次にポケットの左右を縫います。タックは避けて下さい。(②)

最後に、タックをたたんでポケットの底を縫います。返し口も一緒に縫う事で、閉じられます。(③)



2. 口布にファスナーを縫い付けます。

①表地、裏地の口布のファスナー付け側を、それぞれアイロンで仕上がり線に折ります。

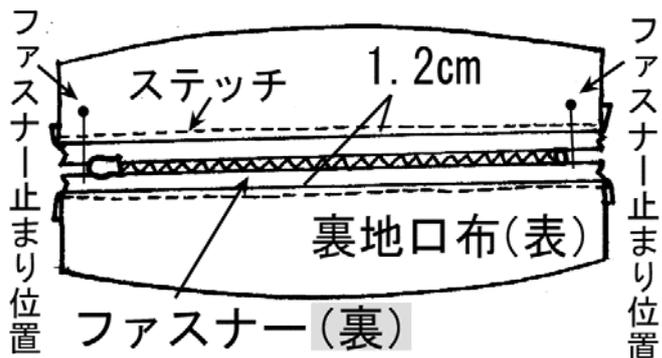
裏地は 1.1cm、表地は 1cm 幅で折ります。

※カーブになっている為、横方向に伸び易くなっていますので、気をつけてください。伸び易い生地の場合は、裏に伸び止テープを貼るなどして下さい。



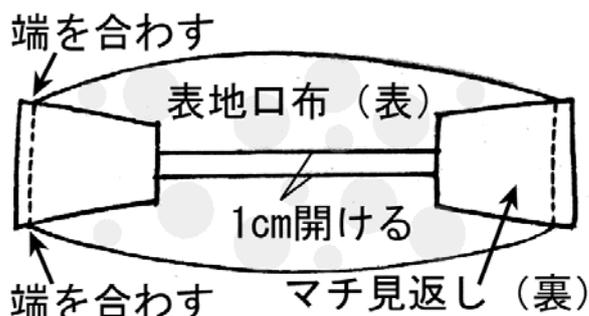
②裏地口布から、ファスナーに縫い付けます。

1. ファスナーのムシが 1.2cm 見えるように(中心から左右に 0.6 cm ずつ)間を開けて、ファスナー開き止まりの合印とファスナーの端を合わせて、ファスナーの裏面に裏地口布をのせマチ針で固定します。
※ファスナーに、ムシ中央から 0.6cm の所へチャコなどで線を引くと、間が取り易いです。
必要なら、押さえをファスナー押えに変えます。
コバステッチで、押えます。

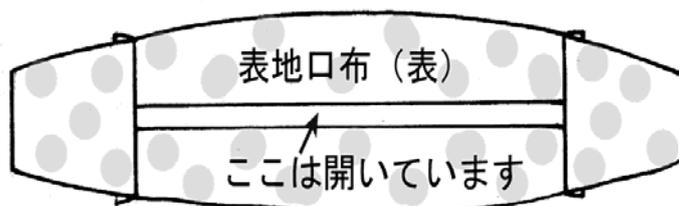


③表地の口布を作ります。

ファスナーがつく部分を1cmあけて(マチ見返しと口布の端を合わせると、1cm 開きます)、中表で口布をマチ見返しに合わせ縫い合わせます。

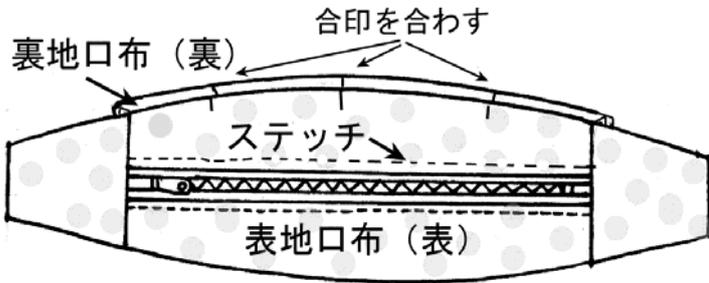


広げると、中央に 1cm 幅の穴があいた状態です。
縫い代はマチ見返し側に倒します。



④表地口布に、ファスナーを縫い付けます。

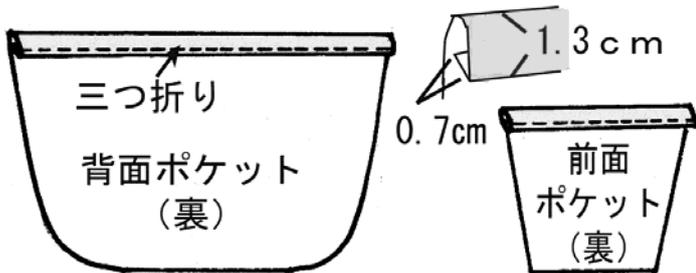
表地口布と裏地口布を外表になるように合わせます。
 ※口布の外周にある合印を合わせるようにして、表地口布と裏地口布を合わせると、合わせ易いです。
 コバステッチで縫い付けます。
 ※③の裏地の縫い付け線を隠すようにしてかぶせ、縫ってください。



3. 表地の前面と背面のポケットを作り、仕上げます。

①前ポケットと、背面ポケットのポケット口を三つ折りにして縫います。

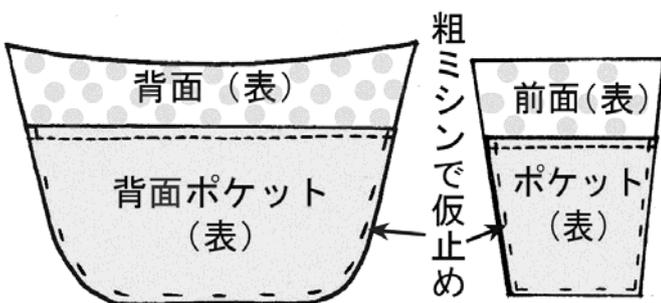
生地を2枚重ねにする場合は、2枚重ねて0.7cmと1.3cm三つ折りにして下さい。



②ポケットにタグなどを付ける場合はここで付けて下さい
 ホックを付ける場合は、ここでポケット側のパーツを付けます。

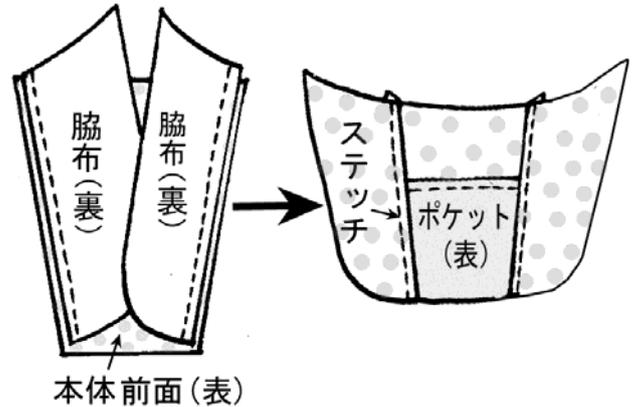
※ポケットを2枚重ねで作っている場合は、磁石ホックが付けれます。
 そうでない場合は、表にボタンが見えても良いようなバネホックなどをご利用下さい。

③表地バッグ前面に前ポケットを、表地バッグ背面に背面ポケットを乗せ、周囲を仮止めします。



④ホックを付ける場合は、先程付けたポケットのホック位置と合うように、バッグ本体(背面と前面)に付けて下さい。(ホックの付け方は、ホックの説明に添って行ってください)

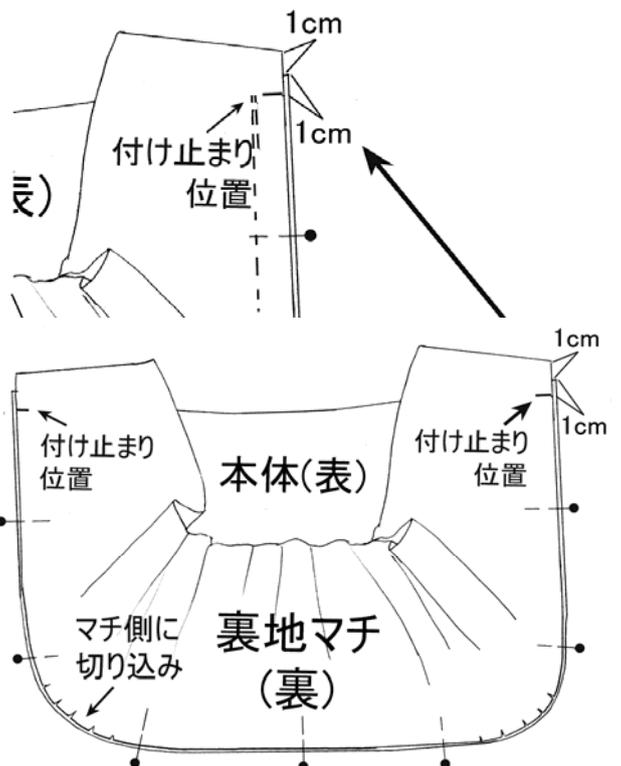
⑤表地バッグ前面と前面脇布を、中表に縫い合わせます。縫い代は脇布側に倒し、表からコバステッチをかけて落ち着かせます。

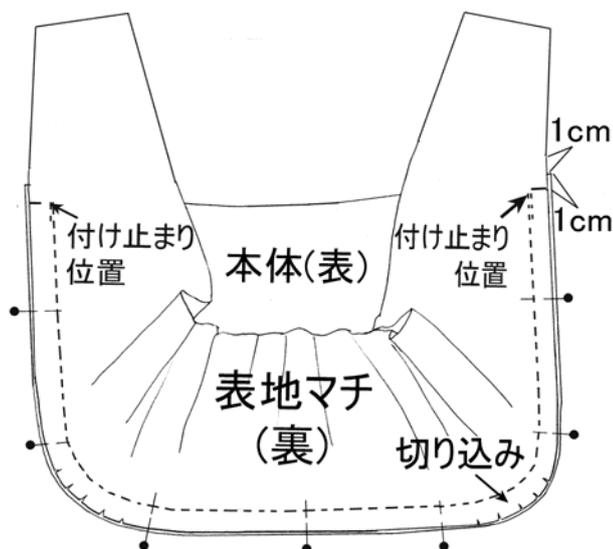


4. 裏地と表地のマチとバッグ本体を縫い合わせます。

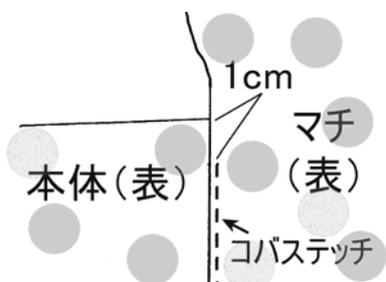
①表地・裏地本体(前面と背面)と表地・裏地マチを、それぞれ中表になるように、合印を合わせながら合わせ、マチ針で留めます。

※各合印を合わせると、マチの「付け止まり位置」と、バッグ本体の上端から1cm入った所が合うようになります。(バッグ本体と口布を縫い合わす縫い代部分を避けるためです)



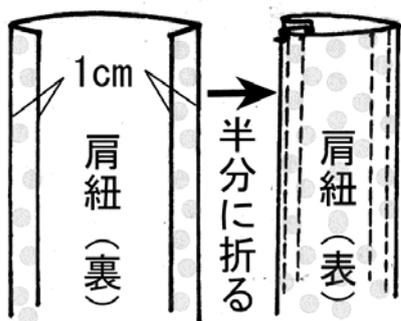


- ② マチの「付け止まり位置」から縫い始めます。
 (バッグ本体の上端から1cm下がった所です)
 ※カーブの所は、マチの縫い代に、5mm程の深さで切り込みを数ヶ所入れると縫いやすくなります。
 ※裏地は、背面側とマチを縫い合わす際は、返し口を、縫い残してください。
- ③ 表地は、縫い代をマチ側に倒して、表からコバステッチをかけて落ち着かせ、形を整えます。
 この時、先程1cm下がった所から縫い合わせているので、コバステッチもここまでして下さい。



5. 肩紐を作ります。

- ① 縫い代1cmを折り込んでから、幅の中心で二つ折りにします。
 ※生地が厚手の場合は、1.2cm幅ぐらいで折り込んだ方が、角カンに通ります。
- ② コバステッチで両端を縫い、さらにダブルステッチで補強します。長・短共、同じようにして作って下さい。



市販のテープを使う場合は、次の長さに切り分けておきます。

	長(1本)	短(2本)
大人用	110cm	12cm
子供用	70cm	10cm

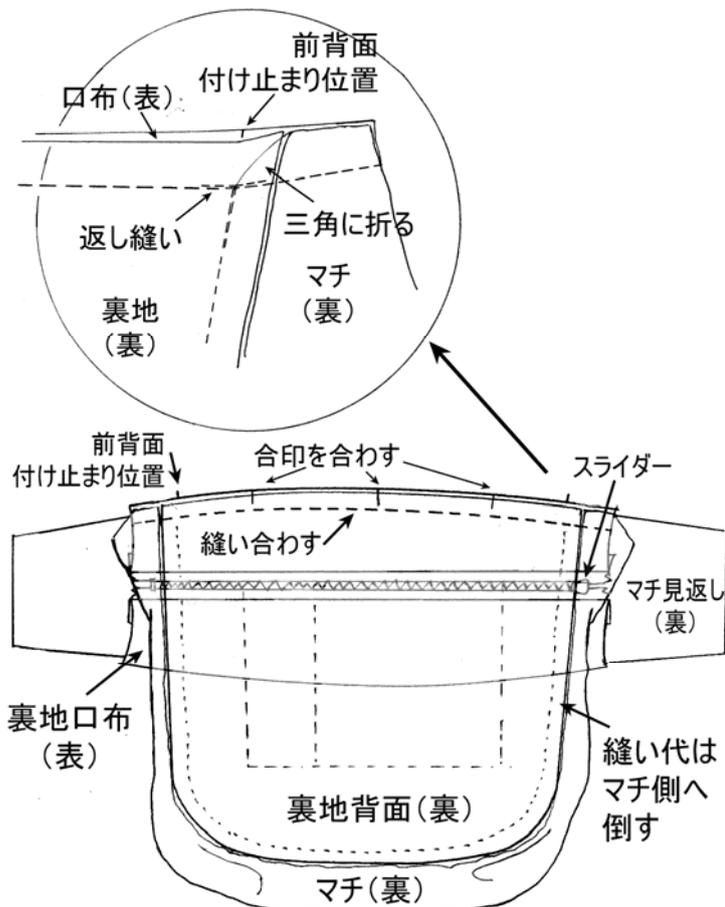
- ③ 前面側も同じようにして、口布とマチを縫い合わせます。

6. 裏地口布と裏地バッグ本体を縫い合わせます。

- ① 裏地の口布と裏地のマチを中表になるように合わせ合印を合わせて縫い始めます。
 この時、ファスナーの口を閉じた状態で、スライダが左手に来るようにして、裏地口布の表面を上にして置きます。
 そこへ、背面(内ポケットの付いた方)の本体を中表になるように合わせます。

※内ポケットが背面側に来る合わせ方です。
 内ポケットが、前面側に来たほうが便利という方は、逆になるように配置してください。

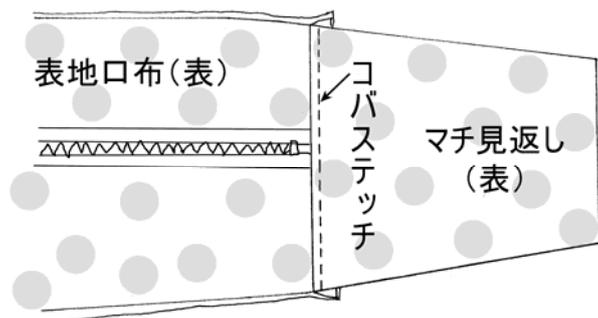
- ② マチと本体の縫い合わせ目の縫い代を、マチ側へ倒します。
 上端は1cm縫い合わさっていない状態なので、マチ側の縫い代を三角形になるように折り、マチ～本体上端が一直線になるようにして口布を合わせます。
 各合印が合うように合わせましょう。
 口布の前背面付け止まり位置とマチと本体の縫い合わせ目が合うようにして下さい。
 (次ページ挿絵参照)



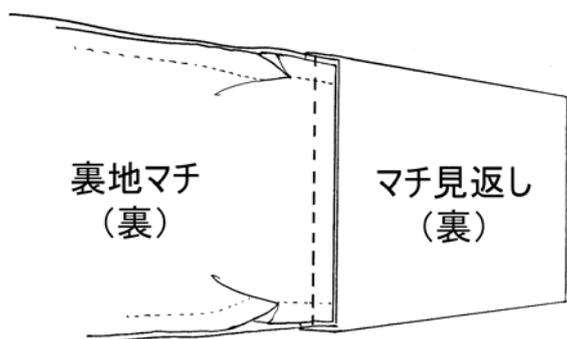
※裏地口布は本来重なって見えませんが、
分り易いよう記載しています

7.裏地と表地の口布を縫い閉じます。

マチ見返しと裏地マチを合わせて、マチ見返しの表から
コバステッチをかけて、縫いとめます。



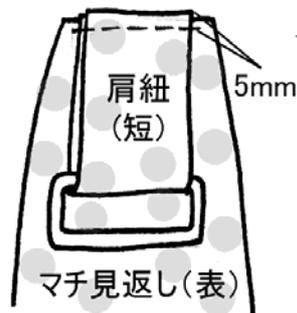
裏から見ると↓



8.短い方の肩紐をマチに縫いとめます。

短い方の肩紐に角カンを通し、半分に折って、縫い代
内に粗ミシンをかけて仮止めします。

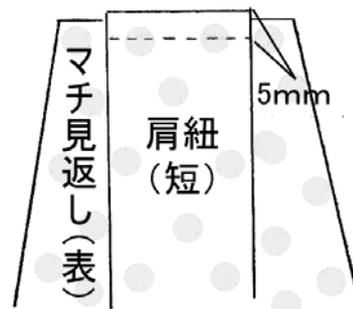
※肩紐は「わ」になっている方が裏地の前面側へ来る
ように乗せると、出来上がりが麗です。



※次の手順で、マチとマチ見返しを縫い合わす際、肩
紐と角カンがじゃまになり、縫いにくくなります。

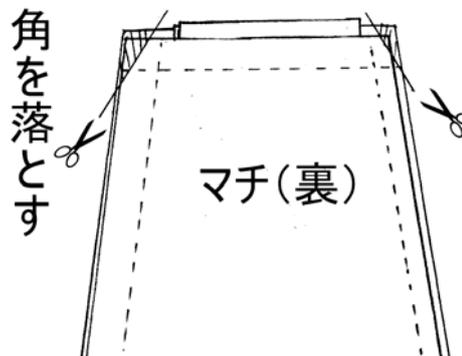
(手順 9-①)参照)

不安な方は、仕上がりが変わりますが、肩紐の一
遍のみを縫いつけ、角カンは後から縫い付けるよ
うにしましょう。(P7 手順 11 参照)



②マチ見返しの端を縫い合わせます。

角は切り落とします。



9. 表地口布と表地バッグ本体を縫い合わせます。

①裏地を縫い合わせた要領で、口布と本体を縫い合わせます。

先に縫い合わせた裏地の口布と本体の縫い合わせ目も重ねて縫って下さい。

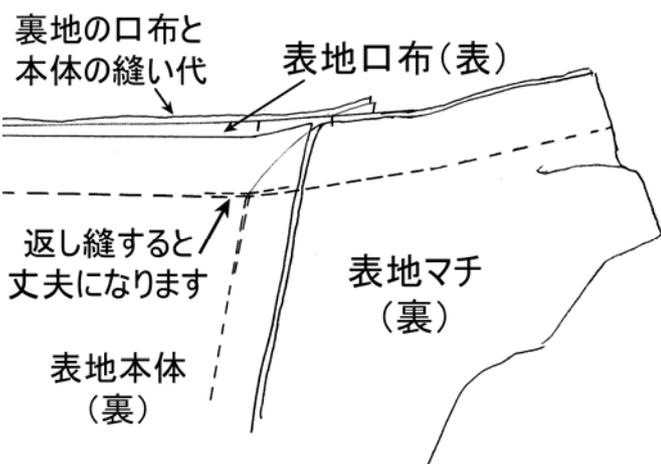
縫い代をつまんで重ねるような感じです。

こうする事で、仕上がった時、裏地と表地が縫い合わさっていて、使い易くなります。

※裏地の背面(内ポケットが付いた方)と表地の背面ポケットが付いた方が重なるようにして下さい。

裏地を手順 6 で逆につけた方は、ここも逆になります。

※ファスナーは、開けておきます。



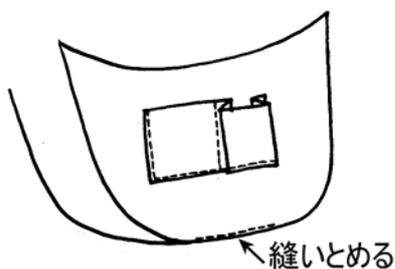
肩紐が付いていて角カンがあるので縫いにくいと思います。肩紐を反対側に寄せながら、押さえが傾くようなら、低くなっている方へ端切れなどを当てて、押さえが水平になるようにして下さい。

10. 裏地の返し口からバッグ全体を表に戻します。

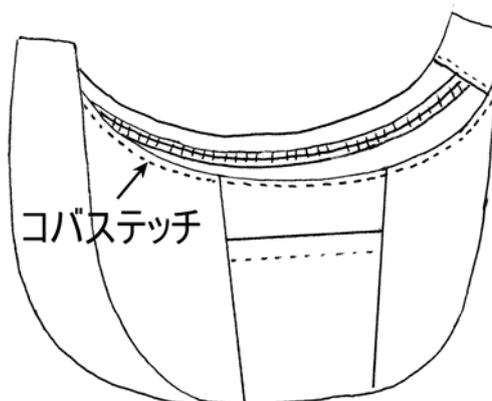
①裏地の返し口からひっくり返し、さらにファスナー部分から表地が表に来るように引き出し、整えます。

※マチの部分は、肩ひもの角カンをひっぱる様になると簡単に返せます。

裏地返し口の縫い代を仕上がり線で折り込んで、コバステッチで押えるか、まつり縫いして口を閉じます。

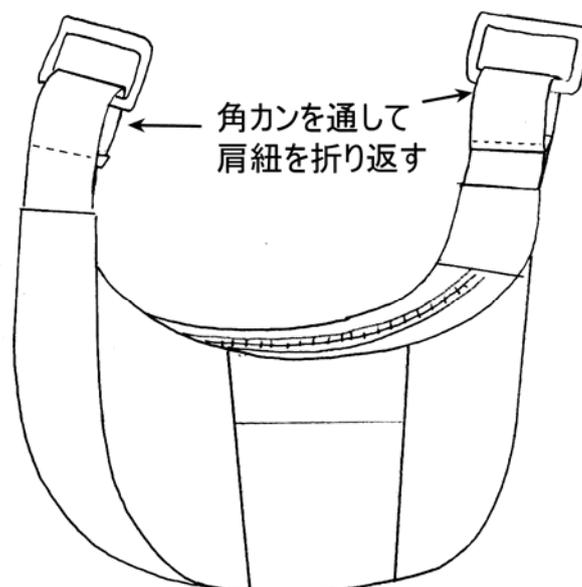
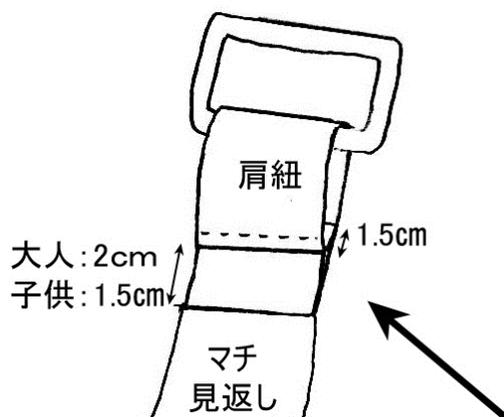


②表からコバステッチをかけて、口布部分を整えます。端のほうはかけ難いと思いますので、無理せず、出来る範囲で行ってください。

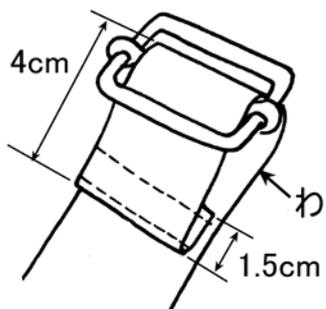


11. 長い方の肩紐をつけます。

①手順 8 で、角カンをつけなかった場合は、角カンを付けます。(つけている方は、②へ進んでください) 角カンに肩紐を通し、端を 1.5cm 折り返して、縫い付けます。

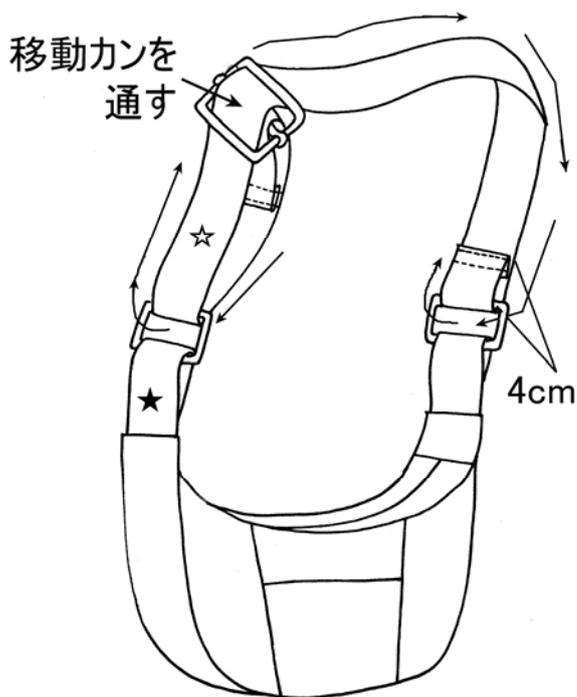
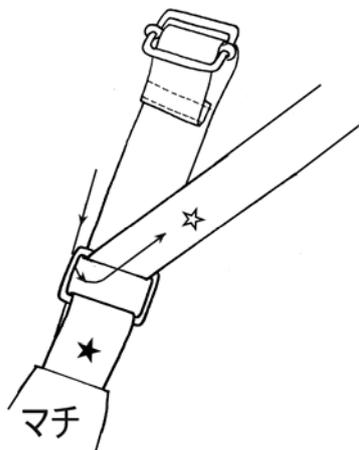


②移動カンに肩紐を通し、端を 1.5cm 折り返して、移動カンから 4cm の所にミシンで固定します。



②移動カンを付けた方の反対側を、正面から向かって左手の角カンに通し、さらに移動カンへ通します。

③反対側(向かって右側)の角カンへ通し、①と同じように先を 1.5cm 折り返して角カンから 4cm の所をミシンで縫いとめます。

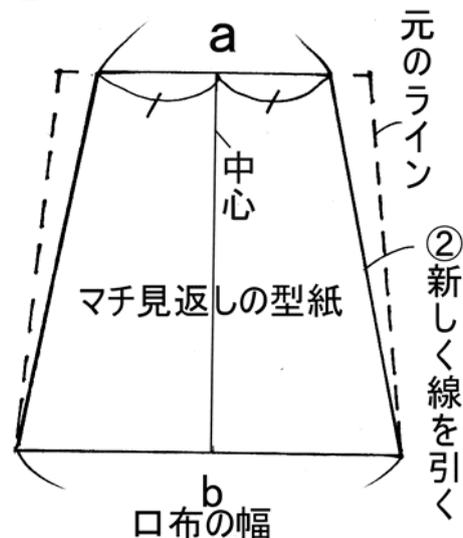


【肩ひもの太さの変更にもなうパターンの修正】

「マチ見返し」と「表マチ」の 2 パーツを修正します。

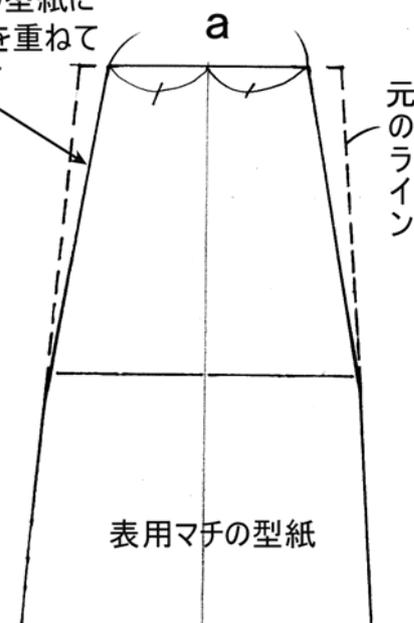
- ① マチ見返しのひも付け側の寸法を、「紐の幅+0.6」とります。
- ② マチ見返しの口布側は変えずに、新しいひも付け側の寸法と結びます。

①新しい紐の幅+0.6cm



③ マチパターン端に、マチ見返しパターンを重ねて新しいラインを写し取ります。

③表用マチの型紙にマチ見返しを重ねてラインを写す



④1cm の縫い代をつけます。

※紐を元パターンより太くする場合は、マチ見返しの付け根の幅(b)よりひもの幅(a)が太くならないようにして下さい。。